

ハマグリ資源管理手法に関する研究

研究部

背景、目的

糸島の加布里干潟では、天然のハマグリが漁獲されており、全国的にも貴重な漁場となっています。糸島漁協加布里支所と水産海洋技術センターは貴重なハマグリが持続して漁獲できるように資源管理方法を定めています。今回その効果を検証し、さらに改善するために資源調査を実施するとともに、販売単価向上策にも取り組みました。

成果の概要

(1) 資源調査

平成22～24年の資源調査によるとハマグリ資源量は、それぞれ390t、384t、343tで、稚貝も順調に育っており、これまでの資源管理の取組により資源量が安定していることがわかりました。さらなる資源の有効利用のため、単価の低い4月を禁漁としました。

ハマグリ資源管理の取り組み

組織化	ハマグリ会発足(H9年度)
資源管理指針	ハマグリ採取漁業規則制定
漁場監視	当番制による監視
採取期間	11～3月
採取箇所	漁場を3区に分け、輪採制を採用
採取方法	手堀
採取数量	10kg/日/人
選別	殻長5cm以上
移植放流	毎年、春に実施



ハマグリ漁の様子

(2) 販売単価向上策

市場調査の結果を踏まえ京都・大阪市場などへの試験出荷を行い、また特に単価の高い12月と2月の出荷量を増やしました。さらに宅配も始め、これらの取組により、15年以降の平均単価(1,455円/kg)は、14年以前の平均単価(1,059円/kg)の1.4倍に増加しました。



平均単価の推移



加布里産ハマグリの出荷箱